

18. 学術委員会報告

学術委員会から日本数学会季期研究所 (MSJ-SI=Mathematical Society of Japan, Seasonal Institute) について報告いたします。

● 2015 年度 MSJ-SI の予定は以下の通りです。

2015 年度 MSJ-SI

「グレブナー基底の 50 年」

Current Trends on Gröbner Bases

—The 50th Anniversary of Gröbner Bases—

日時：2015 年 7 月 1 日(水)～7 月 10 日(金)

場所：ホテル日航大阪

組織委員会代表者：日比孝之 (大阪大学)

MSJ-SI 2015 のホームページが開設されています。詳細については、

<http://mathsoc.jp/meeting/msjsi15/>
をご覧ください。

● 2016 年度 (平成 28 年度) の MSJ-SI については、3 件の応募があり、学術委員会で審議の結果、下記の提案を採択しました。

2016 年度 MSJ-SI

「作用素環と数理物理」

Operator Algebras and Mathematical Physics

組織委員会代表者：河東泰之 (東京大学)

詳細については、準備の進捗状況に応じて、逐次報告させていただきます。

● 2017 年度 MSJ-SI テーマ公募について

2017 年度 (平成 29 年度) MSJ-SI についてテーマ公募を開始します。

締切は 2015 年 5 月 31 日です。

MSJ-SI は、以下の特徴を持ちます。

- ・数学会から 200 万円の助成金が提供されます。
- ・数学会事務局が事務手続きについて可能な範囲において援助を行います。(詳細については下記メールアドレスまで問い合わせください。)
- ・東アジアの数学会の協力のもとで、韓国と台湾から限られた人数の大学院生・若手研究者を、数学会が招待しています。(こ

の部分については数学会理事会の担当となっています。)

・専門家向けの講演とともに、大学院生・若手研究者向け、あるいは周辺分野の研究者向けにサーベイ形式の講演を行うことを推奨しています。(これを MSJ-SI の方向とお考えください。)

公募に申請される方は、締切までに、研究集会のテーマ、提案理由、主要な講演者 (事前承諾不必要) を野海正俊 (noumi(at)math.kobe-u.ac.jp) までお送りください。また、このメールアドレスへの事前の問い合わせも歓迎いたします。

(学術委員長 野海正俊 記)